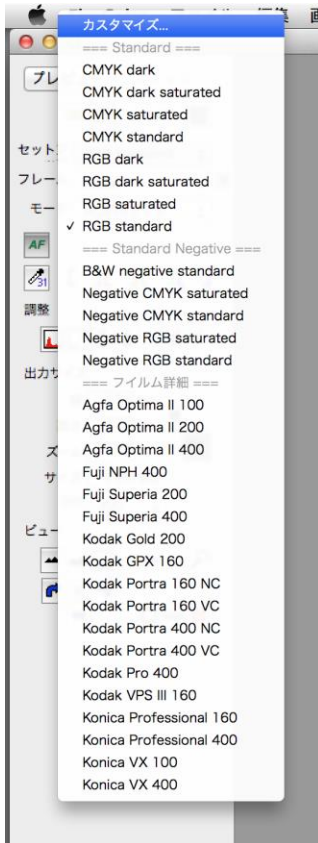


スキャニング作業の専用ソフト「FlexColor」は、左上から順に設定値を決めていく。

### ・ セットアップ



セットアップはプルダウンで選択が出来る。デジタルカメラで言うとホワイトバランスやピクチャースタイルのようなもの。ここで取り込む画像の色モード(CMYK か RGB か)も指定する。

ポジフィルムの場合上半分の CMYK か RGB を選択する。「saturated」(サチユレーテッド)は彩度高めの意味。スタンダードと仕上がりが変わる。

ネガフィルムの場合、中段「Standard Negative」の中には一般的なネガのセットアップが入っている。ここで CMYK か RGB を指定する。モノクロの場合 B&W を指定する。この場合取り込んだ画像の色モードもグレーになる。

ネガは種類によってオレンジベースや色の乗り方などが異なるので、それに合わせたセットアップが準備されている。フィルムメーカーが作ったものではなくハッセルブラッド(イマコン)が設定したもので銘柄も古く、必ずしも記憶色など求める色にはならない点は注意。

### ・ フレーム

取り込まれる画像のフィルムフォーマットを設定する。プルダウン右側の「A」ボタンを押すと、フィルムホルダーを自動認識してフレームを決めてくれる。手動で設定したい場合は「A」ボタンを切り、プルダウンで大きさを指定する。

35mm 判のホルダーを使用する際、自動認識でスキャニングを行うと最大解像度が 6300dpi までしか出ない。X5 の最大性能の 8000dpi を使用する際は、自動認識を切り、プルダウンで「24x36x6 高解像度」を選択すること。

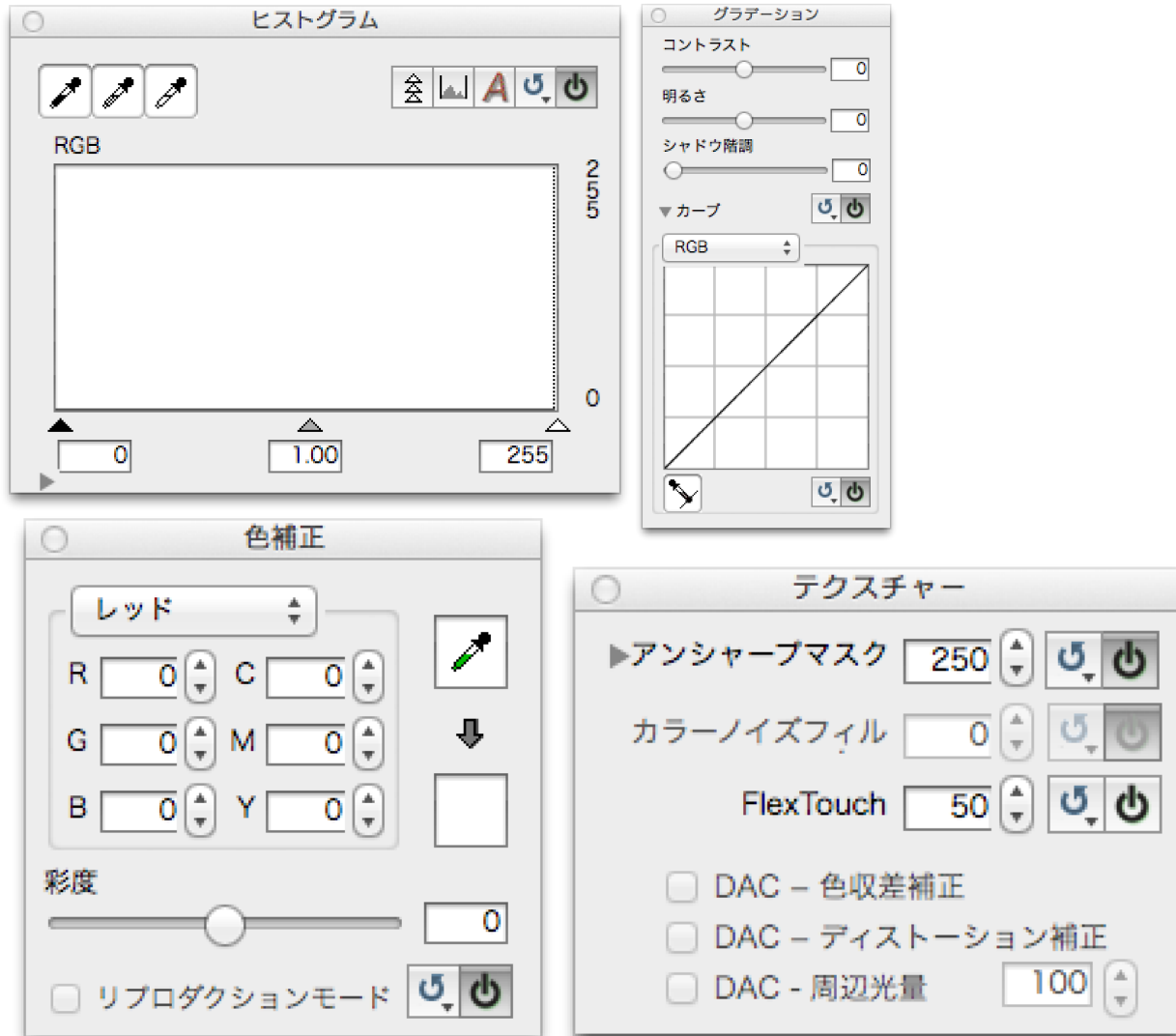
### ・ モード



取り込まれる画像の色モードを指定する。ビット数もここで指定できる。

その下にある「AF」ボタンは、スキャニングの際オートフォーカスを働かせる必要があるので、入れたままにしておくこと。

調整

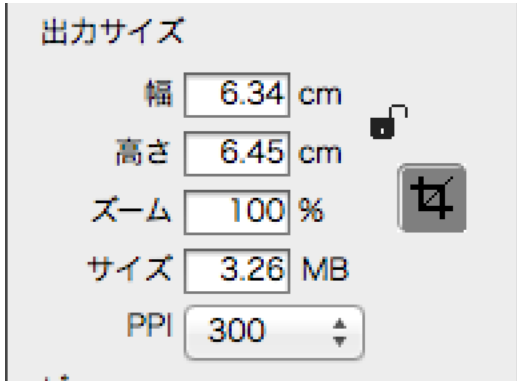


「ヒストグラム」「グラデーション」「色補正」「テクスチャー」の 4 項目で、Photoshop ライクな操作で取り込む画像を調整できる。グラデーション内でトーンカーブの調整も可能。各ウィンドウは左メニュー内のボタンで表示のオンオフが可能。

各ウィンドウの矢印ボタンで初期設定へのリセット、電源マークボタンでその操作を画像に適用させるかどうか切り替えられる。

左メニュー内右端の「A」で自動調整、矢印ボタンで初期設定へのリセットが可能。

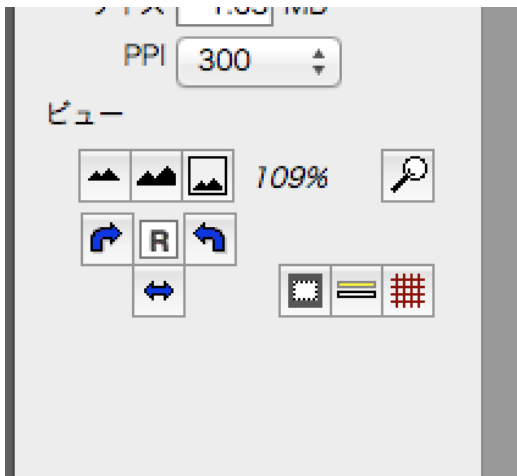
・ 出力サイズ



画面内をドラッグしてスキャニングする範囲を指定し、出力される画像のサイズを、実寸で指定する。最初は 300ppi でフィルム実寸が入力されている。出力したいサイズを入力したのち ppi を選択すると、選択できる解像度が限定されているのでスムーズ。

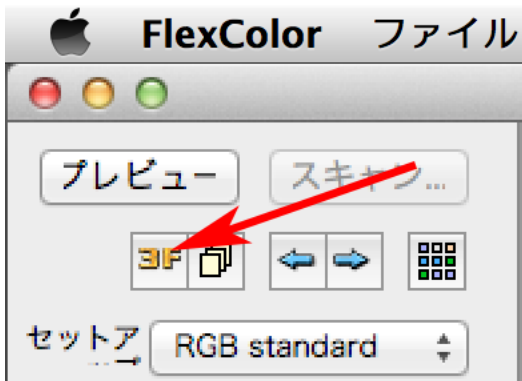
各フォーマットで最大解像度が選択できるのはフィルムフォーマット原寸の場合のみ。

・ ビュー

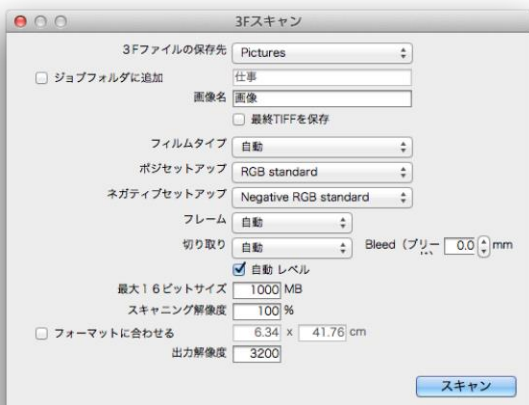


プレビュー画像の拡大・縮小・回転がここで出来る。

・ 3F スキャン



メニュー上部にある「3F ボタン」で RAW 画像のスキャンが出来る。



3F スキャンモードでは通常スキャンモードと同様の内容がウィンドウで表示される。

事前にプレビューしておき範囲をドラッグで指定しておく、  
「切り取り」で「最新」を選ぶことでその部分を RAW スキャン出来る。